

有限会社薫山工房



伝産
Traditional
継承

『本物の上質』を日常の中で

本質的な豊かさとは、日々の暮らしに深く根ざした「手仕事の価値」に気づき、伝統を未来へ継承する一歩を踏み出すことではないだろうか。盛岡では、古くは江戸時代に南部藩の保護を受け、茶の湯釜から日用品へとその技術を発展させてきた。昭和34年に盛岡と奥州の両地域の職人たちにより「南部鉄器」ブランドとして一つになった。現在の販路は、世界へ広がり、世界有数の産地として飛躍的な発展を遂げる一方で、海外では偽物も出回るなど、本物が伝わりにくい状況にある。昭和12年から四代にわたり伝統技術を守り継ぐ薫山工房は、初代からの一貫した手仕事による製造工程と顧客の想いに応える高い技術力を有する。職人の手から生まれる鉄瓶は、鉄本来の硬く錆びにくい性質を最大限に引き出し、底面以外を約2mmの薄さに仕上げる高度な「焼型製法」によって、何十年も次の世代まで使える「本物」を提供し続けている。南部鉄器は、経済産業大臣の指定を受けた伝統的工芸品の一つとして、まさに日本文化の継承と技術の結晶である。

伝統と革新の融合

当社には、南部鉄瓶の高度な製造技術を持つ職人として認定された伝統工芸士が3名も在籍し、その高い技術力で伝統を守りながら、現代のライフスタイルに寄り添う新しい製品を生み出している。職人の神業から生み出された南部鉄瓶で沸かしたお湯には、鉄イオンが微かに浸透し、まるやかで美味しい白湯となる。そのお湯は、お茶やコーヒーの味を引き立て、鉄分は自然に体内へ吸収されることで日々の健康維持に役立つと言われていた。

暮らしのそばに

当社の最大の強みは、南部鉄瓶の製造から販売までをすべて自社で一貫して行っている点にある。工房は盛岡手づくり村内にあり、全国各地から訪れる観光客や外国人にも人気が高い。店舗併設の工房には、日々多くの人々が足を運び、南部鉄瓶の魅力に触れている。小学生の工房見学を受け入れるなど、次世代への文化継承にも積極的に取り組んでいる。お客様とのやりとりや南部鉄瓶を見つめる表情が、職人のやりがいと励みになっている。

代表者からのメッセージ

代表取締役会長
佐々木 和夫
代表取締役社長
佐々木 健二



南部鉄瓶づくりは、決して楽ではありませんが、約400年の歴史を持つ「本物」を自らの手で生み出す誇り高い仕事です。伝統工芸士のもと、本場盛岡で高度な技術を習得し、日本の文化を未来へつなぐ担い手に是非なってください。また、販売事務の仕事もあり、この一生物の工芸品に囲まれ、お客様の生活を豊かにする感動を直接分かち合えます。健康を支え、世代を超えて愛される「手仕事の価値」を、私たちと一緒に伝えていきたいと思います。

キラリPoint



Company DATA

- 事業内容 / 岩手の伝統工芸品である南部鉄瓶の製造および販売
- 資本金 / 300万円 ■従業員数 / 10名(女性5名) ■設立 / 1992年4月 ■平均年齢 / 50歳 ■売上高 / 5400万円
- 初任給 / ①製造(7h/日) 200,000円(大卒)、170,000円(短大)、168,000円(専門卒・高卒) ②販売事務(6.5h/日) 160,000円
- 福利厚生 / 社会保険完備、役職手当、管理手当、皆勤手当、家族手当、住宅手当、通勤手当
- 休日・休暇 / 週休2日、年末年始休暇、夏季休暇

【本社所在地】〒020-0055 岩手県盛岡市繁字尾入野 64-12 ☎019-689-2657